

地球を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和3年度 第6号  
令和3年11月25日発行  
＜発行・編集＞  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL : 025-543-2729  
FAX : 025-543-4150  
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

## 日常生活の中にある差別に気付き、 差別をなくすために行動しようとする子どもの育成

早いもので、今年も残すところあと1か月余りとなりました。この1年を振り返ると、いろいろな出来事がありました。コロナ禍における、57年ぶりの東京オリンピックの開催を思い出される方も多いのではないのでしょうか。近代オリンピックは、単なるスポーツの祭典ではなく、世界の平和や一人一人の人権の尊重を願う大きな意義をもった大会です。約125年の歴史の中で、「女性が出場できない」「人種によって差別をされる」「障がいのある方はスポーツを楽しむ機会がない」といった様々な差別の改善に取り組んできました。今回の東京オリンピックはいかがでしたでしょうか。運営関係者の差別発言、過去の差別行動やいじめ、選手への誹謗中傷など、さまざまな人権にかかわる事案が各メディアで取り上げられていました。この問題をこのままで終わらせずに、これからの社会に生かすことが、差別解消に向けた一つの取組になるものと思います。



また、昨年来、新型コロナウイルス感染症の感染者及び関係者への誹謗中傷や差別が社会問題になっています。そして、インターネットによる部落差別等の人権侵害が、近年、深刻な問題になっています。制度で取り締まるのも一つの方法ですが、それだけではまた違った形で差別は発生します。大切なのは、さまざまな場面で直面する差別に対して「それは間違っている」「差別は許せない」という正しい判断ができること、そして自ら差別をしない・させないことです。子どもたちが正しい判断をすることができるように、積極的に同和教育を中核にした人権教育に取り組み、子どもとともに教職員も学び続けていきます。

### 【直東学園 同和教育部会の取組】

#### ◎ 研究主題

日常生活の中にある差別に気付き、差別をなくすために行動しようとする子どもの育成

#### ◎ 主な取組

- 1 同和教育基底計画に基づいた授業実践
- 2 各校における同和教育研修会及び現地学習会の実施
- 3 小学校6年生と中学生を対象にした講演会の実施

中倉茂樹さん（徳島県人権エンタメ集団『友輝』リーダー）を講師にお招きし、同和問題やいじめをはじめとする、身近な人権問題について考えました。

11月16日（火）各小学校6年生参加（会場 有田小学校体育館）

11月25日（木）中学生全学年参加（会場 直江津東中学校体育館）

## 北諏訪小学校の取組

北諏訪小学校では、今年度も、「直江津東中学校区同和教育基底計画」に基づき授業を行っています。昨年度までの反省を生かし、他校の記録も参考にしながら実践しています。また、授業案や資料などの蓄積もしています。

1年生の「リレーきょうそう」というお話では、動物が主人公の資料を人物に変え、表情や場面の様子が分かりやすいようにして実践をしました。その結果、主人公の気持ちに寄り添った発言が多く出て、「実際にこの場にいたら〇〇と言いたい」と、自分事として捉え発言する姿も見られました。

2年生では、より児童の実態に即した学習の流れになるように、他校の実践を参考にして授業の流れを考え授業を行いました。

11月には、人権教育強調月間に合わせて、今年度も「絆集会」を行います。同日に保護者を対象にした人権を考える講話会も予定しています。

集会に向けて、「絆標語プロジェクト」「歌プロジェクト」など、5つの異学年のグループに分かれて準備をします。学年を超えた活動を通して、誰とでも協力して物事をやり遂げる気持ちを育てることをねらいとしています。また、集会では、ミニゲームをしたり、児童の劇を見て、「自分ならどのような声掛けができそうか」話し合ったりすることを通して、仲間の気持ちを認め合い、温かい言葉を掛けることがよりよい人間関係をつくることに気付くことを期待しています。



【1年生「リレーきょうそう」の実践】

## 保倉小学校の取組

### ① 授業の質を高める

11月1日に、同和教育の先進的な取組を行っている長岡市立深沢小学校教頭の長谷川孝史先生を講師に招いて、同和教育の授業づくり研修会を行いました。どんな授業を行えば子どもたちの考えをしっかりと深めることができるのか、どうすれば当事者意識をもたせることができるのか実際に模擬授業を行いながらポイントを学びました。

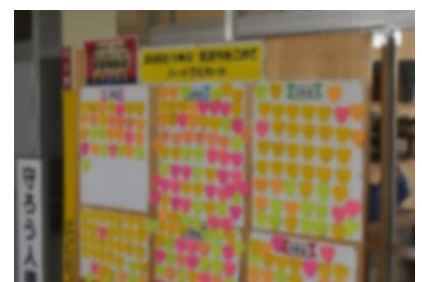


### ② 人権教育、同和教育の授業をしっかりと行う

保倉小学校では、直江津東中学校区同和教育基底計画に基づいて、人権教育、同和教育の学習を行っています。ほくら人権月間の11月11日の参観日には、授業づくり研修会で得たものを生かし、全学年で人権教育、同和教育の授業を公開しました。参観していただくことで、家庭でも人権について考えていただくきっかけとなりました。「差別・いじめをしていい理由などない」「差別・いじめをされている場面を見たら、見逃してはいけない」など、授業の中で考えを深めたことが、子どもたちの日常の行動に生かせるよう、見取りと指導を続けています。

### ③ 友達のよさを見つけて伝える

「お互いを大切にできる子ども」を育てたいと考え、「ハートフルカード」で心温まるメッセージを送り合う取組を継続しています。「ありがとう」「いいね」の気持ちを言葉にして、掲示しています。子どもたちは、読みながら嬉しそうにしています。これからも「一人一人が大切な存在なのだ」ということを伝え続けていきます。



## 有田小学校の取組

6月に本校の飯塚裕先生（全国人権、同和教育研究大会事務局）を講師として、差別の現実から部落差別に対する正しい理解を図る「人権教育、同和教育研修」を全職員で行いました。また、今年度は年4回（6月、10月、12月、3学期）「部落問題学習、人権教育」についての授業を行っています。6月には、全学級で「いじめを『しない』『させない』『許さない』」という主題のもと授業を行いました。授業の前半ではいじめを起ささないために、どのようなことがいじめに当たるのか子どもと考える場を設けました。後半では、自分たちのクラスからいじめを出さないために、自分ができることを書いた付箋を『みんななかよしハッピー有田』の用紙に貼り、学級に掲示しました。9月には、各学級で新型コロナウイルス感染症に係る差別についての授業も実施し、『倒すのは、人ではなく、ウイルスである』ということを確認しました。



【3年生実践授業 『もやもやの理由』】

## 春日新田小学校の取組

今年度も「認め合い進んで学び合う学年・学級づくり」を重点目標に掲げ、「共感性と社会性を高め、人間関係形成力を育成する」資質能力を育成するために「正しい人権感覚を育む同和教育の授業の充実」に取り組んできました。昨年度同様に6年生は下記の授業実践を行いました。また、この後計画している人権強調週間では、各学級で人権教育・同和教育の授業を行います。さらに1月のフリー参観では、保護者の方に見ていただけるよう授業の準備もしています。全職員、全児童の人権意識が高まるよう取り組んでいきます。

### 6年生の実践 **ゲストティーチャーを招いての部落差別問題学習 ～5年目となる実践～**

11月にゲストティーチャーを招いて、「部落差別問題」について考える人権学習、同和学习に取り組みました。道徳や社会の学習時間を中心に1学期から継続的に「差別問題」に関する学習を進めてきました。「人の心が差別をつくる」「差別を許さない」「差別を絶対にしない」など差別について考えたり、思いを高めたりしながら今回の学習を迎えました。当日は、これまでに学習してきた内容をキーワードで振り返った後、ゲストティーチャーの方から「部落差別問題」についてお話をお聞きしました。真剣に語りかける姿を目の前にして、子どもたちも真剣に聞いたり、考えたりする姿が印象的でした。最後に、心と心でつながり合う「心友（しんゆう）」の関係を築いてほしいという温かいメッセージをいただきました。子どもたちとともに心と心でつながり合う関係づくりを大切に、差別を許さない気持ちをしっかりと持ち続けて育ってほしいと思います。



## 直江津東中学校の取組

11月を「いじめ見逃しゼロスクール強調月間」として、生徒会を中心に「いじめや差別のない学校づくり」を目指した取組を行いました。10月19日（火）の生徒朝会で、生徒会総務や専門委員会から具体的な計画が示され、次のように実施しました。

**音楽委員会「心温かソングアンケート」→放送で流す**

**保健委員会「ストレス解消法」の掲示**

**体育委員会「球技大会」の実施**

**図書委員会「本のフレーズポスター」の掲示**

**学習、給食、広報委員会「いじめ見逃しゼロポスター」の掲示**

このように、生徒自らが“いじめを許さない心”“他の人へ思いやりをもって接する心”を高めるように工夫しました。

12月には生徒集会でこうした取組を改めて振り返り、いじめについて深く考え、いじめ・差別を許さない思いを共に育てる機会を設けます。

また今年度も「直江津東中学校区同和教育基底計画」に基づき授業を行っています。各学年で基底計画の内容をもとに、学年の実態に即した指導計画を検討し合い各学級で共通実践できる授業を展開しています。

今後の課題は、「いじめ見逃しゼロスクール」の取組や授業で学んだことを日常の生活で生かすことです。人権について高まった気持ちを行動に移せるように、毎日の生活場面や行動に対して積極的に声掛けを行い続け、いじめや差別をしない、見逃さない学校を目指します。



## 直江津東中学校

### 第2学年 立志式

令和3年10月20日（水）の5、6限に2年生を対象に立志式を行いました。今年度も職場体験学習が中止となりましたが、職業適性検査や職業調べなど制限のある中でできることに取り組み、その成果を発表する場となりました。

第1部では、直東学園理事長の高橋邦夫様からご講演をいただきました。講演の中で、「地域を愛す、自立と共生、未来を創る」の3つの力を身につけてほしいと話がありました。また、「将来の夢」についての発表では、各クラスの代表者が将来に向けての決意を述べました。

第2部のグループ別発表会では、各クラス4つのグループに分かれ、「将来の夢」について一人一人が発表しました。これまで職業適性検査や職業調べで分かったことをもとに、希望する職業に就くために必要な力やこれからの学校生活で意識することなどを発表し、これまでの学習の成果を発揮する場となりました。

育成会議会長の熊木敏夫様から立志バッジをいただき、大人の一員として自覚をもち、地域に貢献できる人になろうと将来に向けて目標を定めることのできた立志式となりました。



【クラス代表による発表】



【グループ別発表会】